令和6年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

生須地区

地すべり対策事業

よくわかる公共事業

事業継続中

電子データはこちら▶

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設をつくります

地元の声

・保全施設が被災しないよう、地すべりの進行を止めて欲しい。（地元住民）
・中学校やこども園前の町道の通行止めを解消してほしい。（地元住民）

事業前

◆ 平成30年９月に地すべりが発生し、斜面が大規模に崩落したほか、町道が変状し、通行止めとなりました。

事業前の状況

事業後

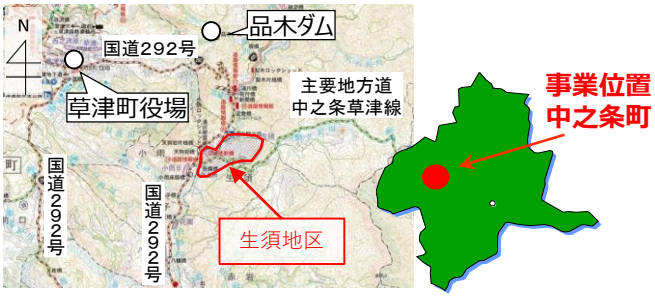
◆ 地すべり対策工を実施し、地すべりの活動を抑えることで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ（一例）

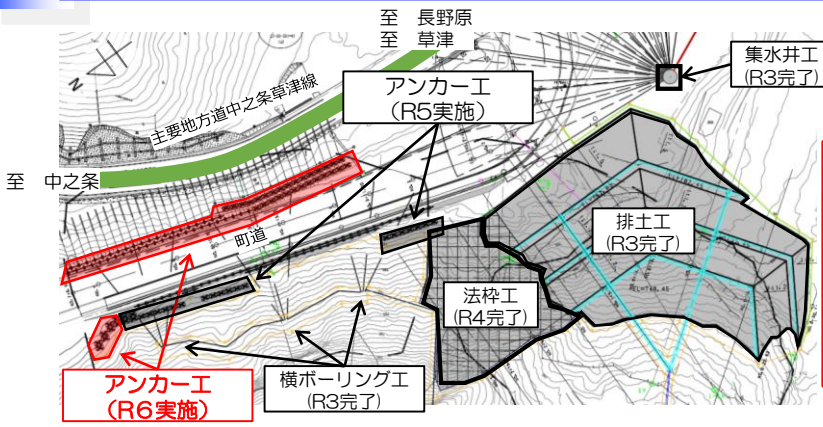
事業の概要

■ 事業箇所：中之条町生須
■ 事業内容：集水井工　１基、アンカー工
■ 事業期間：令和元年度～

※集水井（しゅうすいせい）とは、地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。

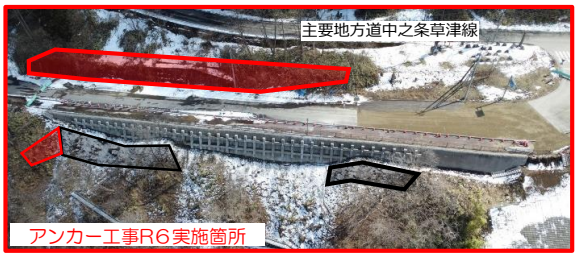


事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和６年度は、引き続き地すべりを押さえるためのアンカー工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――――● 事業完了